



岩田 実

IWATA Minoru

萩野 弘一

OGINO Kouichi

松本 工

MATSUMOTO Takumi

十日町石彫 2022 プロムナードの作家たち

2022年

6月10日[金]~7月31日[日]

- 開館時間：9:30~17:00 (入館は16:30まで) ■休館日：火曜日
- 入館料：一般500円、小・中学生200円 ※団体(20名以上)各50円引き
- ※障がい者手帳(ミライロID含む)提示で各100円引き
- ※「大地の芸術祭パスポート」提示で各50円引き【割引併用は不可】

同時
開催

すくは
館蔵刀剣展 直刃の美

星と森の詩美術館 〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1
TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203
<http://www.hoshi-uta-m.jp>

左：岩田実《希望》2000 花崗岩・安山岩【十日町市本町2丁目】
右：松本工《山風》1996 花崗岩【緑道(十日町市)】
下：萩野弘一《空からの贈り物(電車ごっこ)》1995 花崗岩【十日町駅西口】
写真提供：十日町石彫シンポジウム実行委員会

十日町石彫 プロムナードの 作家たち2022

6月10日(金)～7月31日(日)

現在、十日町市街地の通りや街角で目にする多くの石の彫刻作品は、1995～2014年の20年にわたり開催された「十日町石彫シンポジウム」で制作された作品です。猛暑の夏にも豪雪の冬にも耐え、すっかり街の風景に溶け込み、十日町を特徴づける景観のひとつとなっています。

当館では、実に86点にも及ぶこの作品群を作り出した作家一人ひとりにスポットを当ててご紹介するシリーズ展「十日町石彫プロムナードの作家たち」を、2014年から毎年開催しております。今回は、豊かな人物造形を通して“いのち”を表現する**岩田実**、先人たちから受け継ぐ農業を基盤とする暮らしのなかで石で遊ぶことの楽しさを体現し表現する**荻野弘一**、そして地形や風土によって異なる風の動きやその量感を石で表した**松本工**——3名の作家の作品展となります。

街なかの作品とあわせて、ぜひお楽しみください。



岩田 実 (いわた・みのる)

- 1948 岐阜県多治見市に生まれる
- 1975 東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
- 1978 第3回新潟県彫刻展出品 (東京都美術館) 以降、第10回展まで毎年出品
- 1984 岐阜県立多治見北高等学校にブロンズ作品設置 (岐阜) 第15回創作メダル (レリーフ) 彫刻展 【大賞 (日本芸術メダル協会賞)】 '94も同賞受賞 以降、関東・東海を中心に個展開催
- 1985 第20回フィデム (創作レリーフ) 展出品 (スウェーデン) 以降、第22回展まで出品
- 1987 鎌倉市玉縄行政センターに石彫作品設置 (神奈川)
- 1988 碧南市立中央中学校に石彫作品設置 (愛知)
- 1989 ヨーロッパ'89日本祭り出品 (ベルギー) アートビル三好ヶ丘彫刻フェスタ模型展出品 (愛知)
- 1995 蛸川村「石のつどい」シンポジウム招待参加 (岐阜) '97も
- 2000 第6回十日町石彫シンポジウム参加、作品設置 (新潟)
- 2003 JR鎌倉駅東口に石彫作品設置 (神奈川)
- 2009 鎌倉市立中央図書館にブロンズレリーフ作品設置 (神奈川)
- 2011 日本赤十字看護大学広尾キャンパスにブロンズ作品設置 (東京)
- 2015 鎌倉市福祉センターに大理石レリーフ設置 (神奈川)
- 現在 日本美術家連盟会員、日仏美術学会会員、日本ユネスコ協会会員 神奈川県在住

荻野 弘一 (おぎの・こういち)

- 1954 新潟県北蒲原郡佐村 (現 阿賀野市) に生まれる
- 1979 イタリアへ渡り、カッラーラで制作する ('82まで)
- 1990 加茂山公園野外彫刻展【佳作賞】 (新潟)
- 1992 第1回木内克大賞野外彫刻展【茨城県近代美術館賞】 (茨城)
- 1993 第7回神戸具象彫刻大賞展【神戸市土地開発公社賞】 (兵庫) 第8回国民文化祭いわて'93石彫展【若手町長賞】 (岩手) かさおか石彫シンポジウム参加、作品設置 (岡山)
- 1994 第10回記念'94福屋新宮石彫シンポジウム参加、作品設置 (兵庫)
- 1995 十日町石彫シンポジウム参加、作品設置 (新潟) 第2回木内克大賞野外彫刻展【審査員奨励賞】 (茨城)
- 1996 第8回神戸具象彫刻大賞展【大賞 (神戸市長賞)】 (兵庫)
- 1997 第24回若手町国際石彫シンポジウム参加 (岩手)
- 2000 第1回桜の森彫刻コンクール【大賞】 (秋田)
- 2001 2001西播磨国際彫刻シンポジウム in KANZAKI 参加 (兵庫)
- 2004 石彫シンポジウム in IKAWA 企画、参加 (秋田) Sculpture by the sea in Bondi 出品 (オーストラリア) 以降も出品
- 2006 個展「内なる川」開催 (国際芸術センター青森/青森)
- 2007 Sculpture by the sea in Cottesloe 出品 (オーストラリア) 以降も出品
- 2013 第2回あさごアートコンペティション出品【優秀賞】 (兵庫)
- 2015 第100回二科展初出品 '16第101回展【彫刻部特選】
- 2017 二科会彫刻部会友推薦 '19第104回【彫刻部会友賞】
- 2021 Sculpture Rocks' Exhibition 出品 (オーストラリア)
- 現在 二科会会友 新潟県在住

松本 工 (まつもと・たくみ)

- 1952 岩手県に生まれる
- 1975 多摩美術大学大学院彫刻科修了
- 1980 個展開催 (神奈川県民ホール)
- 1983 個展開催 (七洋画廊/銀座)
- 1984 ヴィラーニ国際石彫シンポジウム参加 (ハンガリー)
- 1985 レンダヴァ国際石彫シンポジウム参加 (スロベニア)
- 1989 富士見高原の創造の森国際石彫シンポジウム参加 (長野)
- 1990 レンティエ国際石彫シンポジウム参加 (ハンガリー)
- 1993 ポスニア海国際アートシンポジウム参加 (フィンランド) レンダヴァ国際石彫シンポジウム参加 (スロベニア)
- 1996 第2回十日町石彫シンポジウム参加、作品設置 (新潟)
- 現在 東京都在住

石彫作家 ギャラリートーク開催 (予約制)

[日時] 7月2日(土) 14:00～

※ご予約と入館料が必要です

[参加予定作家]

岩田実さん、荻野弘一さん、松本工さん

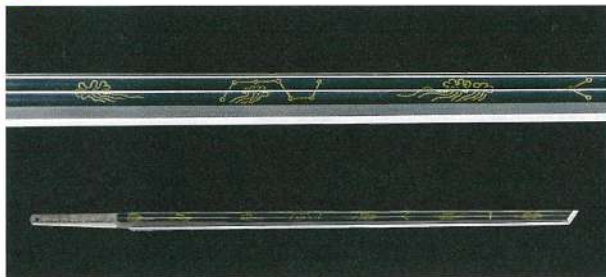
[予約受付・お問合せ]

星と森の詩美術館 電話 025-752-7202

※定員になり次第、予約受付を終了いたします

同時開催

すぐは 直刃の美 館蔵刀剣展



大刀(直刃)「天田昭次作之/平成七年正月吉日」【国宝《七星剣》写し】

日本刀は、平安時代中期以降にその製法が確立されて以来1000年以上の間、数多の刀工の手によって現代まで作られ続けてきました。当初は巧まずして生み出された造形も、やがて時代によって流行が見られるようになります。殊に刃文に関しては、かつては地域や流派の特徴を示すものでありましたが、江戸時代には意匠的な刃文も作られるようになりました。ただ直刃の刃文については、平安の昔から現代まで地域を限らず、絶えることなく作られ続けています。

今展では、鎌倉時代前期の古刀から現代刀まで、選りすぐりの直刃の作10余口を所蔵刀より展覽いたします。

星と森の詩美術館

◇開館時間：9:30～17:00 (入館は16:30まで)

◇休館日：火曜日

◇入館料：一般500円、小・中学生200円



〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202 FAX 025-752-7203 <http://www.hoshi-uta-m.jp>

[交通アクセス] ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分

● 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由25分

● 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由50分

● 関越自動車道「六日町IC」より R253経由35分

● 北陸自動車道「上越IC」より R253経由70分

